

能代港における貨物船の船底接触について

平成26年7月1日
港湾空港課

1 経緯

平成26年6月29日（日）午後4時10分頃、能代港を出港した貨物船（総トン数497トン）が、-13m泊地と-14m泊地の境付近の航路標識より20～30m泊地側の浅くなっている箇所へ船底右舷側を接触した。

当該船舶は航行をやめ点検を実施したが、異常がなかったためそのまま出港した。

このことに関して、船舶代理店から海上保安部及び管理者である秋田県能代港湾事務所に連絡があった。

2 発生の状況

当該浅瀬は海上保安部により水路通報（※）が発表されている区域である。

更なる安全確保のため、浮標灯の設置等について海上保安部と協議を行っていた。

船舶代理店によると、船舶は障害物（他の船舶）を避けるため、浅瀬付近を航行した模様。

※水路通報：船舶航行の安全に必要な情報（浅瀬や構造物の位置、海上工事等）を海上保安庁が発行しているもの。

3 今後の対応

海上保安部との協議を進め、浮標灯の設置等必要な措置を速やかに講じていく。

